

第37回サロン（7月サロン）を開催しました

期日：7月24日（土） 18：00～

第6回観察採集会（茶臼山観察採集会）が行われた夕方、安城市民交流センター1階活動室にて、恒例のサロン（7月サロン 第37回）を行いました。

参加者：（敬称略）金森正臣 堀田喜久 杉坂美典 大野鋭雄 小川束 原田究 小鹿亨

今回の講演は、金森正臣先生の「極相林のgapギャップ」についてでした。長野県の菅平にある筑波大学（旧東京教育大学）の研究所に、先生がお勤めのころに関わったお仕事とこのことです。

植物群落が遷移の結果、最後に行くつく姿がいわゆる「極相林」で、その中に草原性の動物が生息する多様性の高い場所がパッチ状に存在していることわかったことから、進められた研究とこのことでした。そして、ギャップと呼ばれる隙間が極相林の回復・更新に大きな役割を果たしていることです。

講演の中では、いろいろな調査方法の工夫や、40人近くで行った調査のため、そのまかないや、忙しい中で1日3時間の睡眠時間が1週間も続いたなど、さまざまな苦労話も聞かせていただきました。

杉坂：高山チョウの写真撮影 アカボシゴマダラの情報 クロマダラソテツシジミの発生情報

堀田：翌日のシダの講座の件、津具村折元峠のオウレンシダ

小鹿：茶臼山観察採集会の報告、三河生物・三河の昆虫の原稿募集、次回38回サロン（8月28日）は、田中会長による海藻類に付着している珪藻類について講演をいただく予定。

次回の観察採集会は検討中。

